

令和2年度

呉市病院事業会計 決算概要



公立下蒲刈病院

目 次

1	病院事業報告	1 頁
2	業務量	1 頁
3	施設整備の一部	1 頁
4	決算概要	2 頁

(注) (1) 文中の金額は、原則として万円単位で表示し、単位未満は切り捨てた。

(2) 各表中の比率は、原則として小数点以下第2位を四捨五入した。

1 病院事業報告

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症蔓延による受診控えや、エレベーター改修に伴う入院制限及び看護師の不足などから診療可能患者数が低迷し、引き続き赤字となりましたが、新型コロナウイルス感染症に対応した国庫補助金を最大限活用するなど収益の確保を行ったことで、令和元年度に比べ損失額が減少しております。

今後も地域医療の維持のため、医師確保に取り組むとともに、効率的な病院運営に努め、住民の健康保持増進に寄与してまいります。

2 業務量

令和2年度における病院利用者(患者)の延人数と1日平均人数は次のとおりです。

(1) 延人数

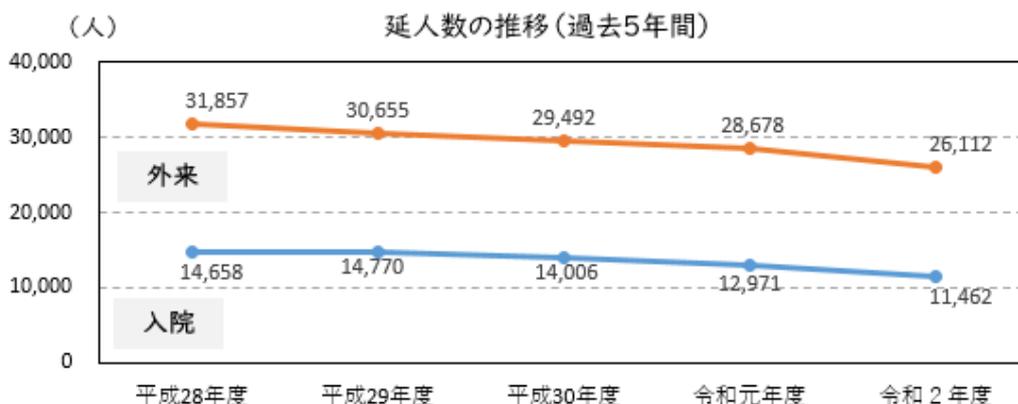
[単位:人, %]

区分	令和元年度 ①	令和2年度 ②	比較	
			増減 (②-①)	比率 (②/①)
入院	12,971	11,462	△ 1,509	88.4
外来	28,678	26,112	△ 2,566	91.1

(2) 1日平均人数

[単位:人, %]

区分	令和元年度 ①	令和2年度 ②	比較	
			増減 (②-①)	比率 (②/①)
入院	35	31	△ 4	88.7
外来	99	89	△ 10	89.9



3 施設整備の一部

(1) エレベーター



部品の製造終了によりメンテナンスできなくなったため更新したものを。

(2) 内視鏡洗浄機



経年劣化で使用に支障をきたしたため更新したものを。

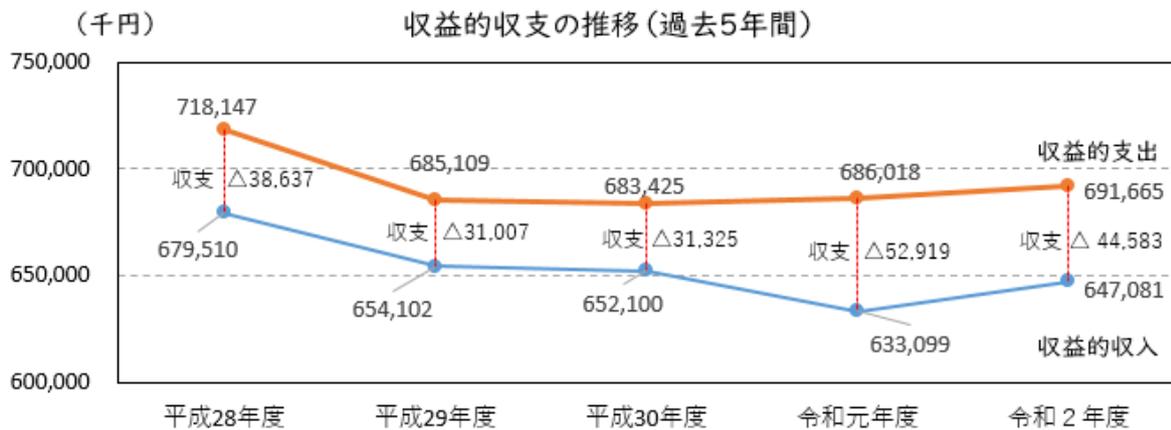
4 決算概要

令和2年度の決算概要は次のとおりです。

(1) 収益的収支

[単位：円(税抜)，%]

区 分	令和元年度 ①	令和2年度 ②	比 較	
			増減(②-①)	前年度比
収益的収入	633,098,901	647,081,391	13,982,490	+ 2.2%
収益的支出	686,018,204	691,664,818	5,646,614	+ 0.8%
収 支	△ 52,919,303	△ 44,583,427	8,335,876	



ア 収益的収入内訳

[単位：円(税抜)，%]

区 分	令和元年度 ①	令和2年度 ②	比 較	
			増減(②-①)	前年度比
医 業 収 益				
入院収益	260,122,101	238,961,190	△ 21,160,911	
外来収益	160,937,906	153,696,932	△ 7,240,974	
その他医業収益	68,500,494	69,721,326	1,220,832	
小 計	489,560,501	462,379,448	△ 27,181,053	▲ 5.6%
医 業 外 収 益				
受取利息	50,835	53,657	2,822	
他会計補助金	72,152,348	100,033,765	27,881,417	
負担金及び交付金	56,453,736	65,921,304	9,467,568	
長期前受金戻入	9,440,313	9,493,925	53,612	
その他医業外収益	5,436,168	5,526,712	90,544	
小 計	143,533,400	181,029,363	37,495,963	+ 26.1%
特別利益	5,000	3,672,580	3,667,580	
合 計	633,098,901	647,081,391	13,982,490	+ 2.2%

【主な増減】

- (ア) 入院収益、外来収益はともに減少し、入院収益は、2億3,896万円、外来収益は、1億5,369万円になりました。
- (イ) その他医業収益は、脳ドックを再開したこと等により、前年度に比べ122万円増の6,972万円になりました。
- (ウ) 医業外収益は、国庫補助金や一般会計負担金の増により、前年度に比べ3,749万円増の1億8,102万円になりました。
- (エ) 特別利益は、新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金と貸倒引当金戻入益です。

イ 収益的支出内訳

[単位：円(税抜)，%]

区 分	令和元年度 ①	令和2年度 ②	比 較	
			増減(②-①)	前年度比
医業費用				
給与費	484,989,445	489,126,870	4,137,425	
材料費	34,243,548	34,970,703	727,155	
経費	110,527,377	107,720,083	△ 2,807,294	
減価償却費	37,993,486	38,410,428	416,942	
資産減耗費	1,847,292	1,030,086	△ 817,206	
研究研修費	864,057	448,736	△ 415,321	
長期前払消費税償却	1,505,205	1,399,021	△ 106,184	
小 計	671,970,410	673,105,927	1,135,517	+ 0.2%
医業外費用	14,012,386	14,971,091	958,705	+ 6.8%
特別損失	35,408	3,587,800	3,552,392	
合 計	686,018,204	691,664,818	5,646,614	+ 0.8%

【主な増減】

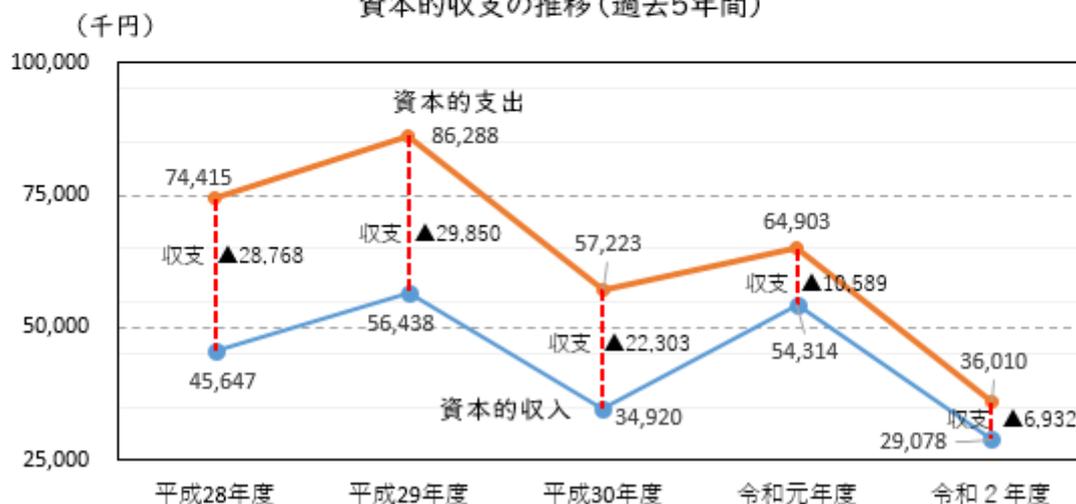
- (ア) 給与費は、脳ドック再開に伴う非常勤医師への報酬の増や会計年度任用職員への期末手当の支給等により、前年度に比べ413万円増の4億8,912万円になりました。
- (イ) 経費は、備消耗品費等の減により、前年度に比べ280万円減の1億772万円になりました。
- (ウ) 資産減耗費は、老朽機器の除却の減により、前年度に比べ81万円減の103万円になりました。

(2) 資本的収支

[単位：円(税込)，%]

区 分	令和元年度 ①	令和2年度 ②	比 較	
			増減(②-①)	前年度比
資本的収入	54,314,088	29,077,650	△ 25,236,438	▲ 46.5%
資本的支出	64,902,503	36,009,641	△ 28,892,862	▲ 44.5%
収 支	△ 10,588,415	△ 6,931,991	3,656,424	

資本的収支の推移(過去5年間)



ア 資本的収入内訳

[単位：円(税込)，％]

区 分	令和元年度 ①	令和2年度 ②	比 較	
			増減(②-①)	前年度比
企業債	20,200,000	11,600,000	△ 8,600,000	▲ 42.6%
出資金	29,194,088	16,681,000	△ 12,513,088	▲ 42.9%
補助金	4,891,000	740,000	△ 4,151,000	▲ 84.9%
固定資産売却代金	29,000	56,650	27,650	+ 95.3%
合 計	54,314,088	29,077,650	△ 25,236,438	

【主な増減】

- (ア) 企業債は、建設改良費の減少による借入減により、前年度に比べ860万円減の1,160万円になりました。
- (イ) 出資金は、建設改良費と企業債償還金の減少に伴い一般会計からの繰入金が増えたため、前年度に比べ1,251万円増の1,668万円になりました。

イ 資本的支出内訳

[単位：円(税込)，％]

区 分	令和元年度 ①	令和2年度 ②	比 較	
			増減(②-①)	前年度比
建設改良費	47,943,871	26,903,141	△ 21,040,730	▲ 43.9%
企業債償還金	16,958,632	9,106,500	△ 7,852,132	▲ 46.3%
合 計	64,902,503	36,009,641	△ 28,892,862	

【主な増減】

- (ア) 建設改良費は、医療機器整備のための支出減により、前年度に比べ2,104万円減の2,690万円になりました。
- (イ) 企業債償還金は、前年度を以て償還の終了した企業債があったため、本年度は785万円減の910万円になりました。

(3) 企業債

[単位：円]

区 分	令和元年度 残高	令和2年度 借入高	令和2年度 償還高	令和2年度末 残高
財務省	36,906,481		3,766,500	33,139,981
広島銀行	30,580,000		3,080,000	27,500,000
もみじ銀行	3,340,000		2,260,000	1,080,000
呉信用金庫		11,600,000		11,600,000
合 計	70,826,481	11,600,000	9,106,500	73,319,981

企業債残高は、前年度に比べ249万円増の7,331万円になりました。

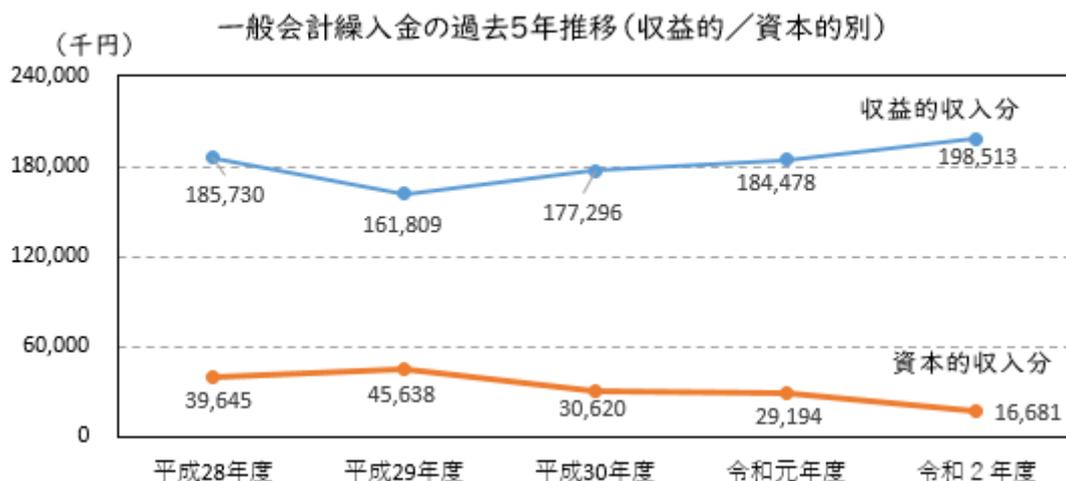
(4) 一般会計繰入金

[単位：円]

区 分		令和元年度 ①	令和2年度 ②	増 減 (②-①)
収益的収入	医療収益			
	救急医療の確保に要する経費	37,991,000	37,991,000	0
	保健衛生行政事務に要する経費	8,295,502	6,968,419	△1,327,083
	退職手当負担金	9,854,474	10,677,899	823,425
	小 計	56,140,976	55,637,318	△503,658
	医療外収益			
	建設改良に要する経費(利息)	578,432	531,843	△46,589
	共済追加費用の負担に要する経費	2,913,353	2,893,968	△19,385
	基礎年金拠出金	11,207,942	11,316,480	108,538
	児童手当	3,560,000	3,060,000	△500,000
研究研修に要する経費	469,631	246,803	△222,828	
不採算地区病院の運営に要する経費	41,258,000	50,617,000	9,359,000	
医師確保対策に要する経費Ⅰ(医師派遣)	2,646,222	3,758,514	1,112,292	
医師確保対策に要する経費Ⅱ(医師確保)	51,086,200	55,679,000	4,592,800	
高度医療に要する経費	14,617,304	14,772,461	155,157	
小 計	128,337,084	142,876,069	14,538,985	
合 計	184,478,060	198,513,387	14,035,327	
資本的収入	建設改良に要する経費(元金)	9,094,088	5,181,000	△3,913,088
	建設改良に要する経費(医療機器整備)	20,100,000	11,500,000	△8,600,000
	合 計	29,194,088	16,681,000	△12,513,088
総 合 計	213,672,148	215,194,387	1,522,239	

【主な増減】

- (ア) 収益的収入は、不採算地区病院の運営に関する負担金や非常勤医師の報酬に係る医師確保対策の補助金が増えたこと等により、前年度に比べ1,403万円増の1億9,851万円になりました。
- (イ) 資本的収入は、医療機器整備と企業債元金の償還に係る支出がそれぞれ減ったことにより、対応する出資金が減少し、前年度に比べ1,251万円減の1,668万円になりました。



(5) 欠損金処理計算書

令和元年度繰越欠損金3億1,879万円に、令和2年度純損失4,458万円を欠損処理したものが、令和2年度繰越欠損金3億6,337万円になります。